

愉しい非電化のすすめ

機發明工房代表・機非電化工房代表

工学博士 藤村靖之

「非電化」というのは、電化されて快適・

便利になった生活を、快適・便利は残したままで、電氣を使わないで愉しく実現

してみようという意味の、私の造語である。この言葉をタイトルにした拙著「愉

しい非電化『洋泉社』が先に出版された。この本の出版に際して、実は二つの不安

があった。一つ目の不安は、電氣に対する否定と誤解されないかということ。

二つ目の不安は、このオール電化の時代には非電化といっても見向きもされないのでは

はないかということだった。幸いに二つとも杞憂に過ぎなかったようだ。

二十世紀はまさに「電氣文明」の世紀

だった。電氣を利用することで人々の生

活は格段に快適・便利になった。ただし少し快適・便利になり過ぎたのかもしれない。

ここ数年、夏が近づくとたびに電力不足を心配して「電氣を大切に」といったテレビCMが流されているが、私たちが

必要以上に快適・便利を求めて電氣を使っているのではないだろうか。電氣エ

ネルギーに限らないが、地球規模でエネルギー資源の枯渇あるいは温暖化が叫ば

れるなか、何か違う選択肢が必要なのではないだろうか。しかし、その選択肢が

「貧しい昔に戻る」のではなく、「新しい豊かさを実現する」ものでなくては面白

くない。

そこで新しい豊かさを実現できる非電化製品を發明してみたくなった。冷房、

冷蔵庫、掃除機、洗濯機、照明、除湿機……といった一連の非電化製品を四年掛

かりで實現してみた。電化製品には敵わないが、ホドホドの快適・便利でゆるさ

れるなら、非電化でも實現できるということが確かめられた。例えば非電化除湿

機。十畳くらいの部屋なら十分に使える能力はあるし、補給品も一切不要。故障

の心配は無く五十年は使えるという点では快適・便利だが、湿氣を吸って満杯に

なると二時間ほど陽光にさらさなければ